

# 子育てサロン新田



## 「ひまわり」だより



2015年5月1日

新田保育園

園長 川端隆

新年度が始まって1か月が経ちました。保育園には0歳児から5歳児まで6つのクラスがあります。新しい環境で生活することは大変なことです。しかし、子ども達はたくましく乗り越えつつあります。今年のみかんぐみは慣れるのが早く、落ち着いて生活ができるようになってきました。りんごぐみは大変にぎやかな子ども達ですが、食事が出てくるとピタリと静かになるそうです。ことりぐみは新入のお友達も進級のお友達もすぐに仲良しになりました。ひよこぐみは、大きくなったことがうれしくて、第1週ははりきっていました。今は新担任に気持ちをぶつけ、信頼関係を築く時期が到来しています。りすぐみは、とくに男の子なのですが、新任の道厘栄養士からおかわりをもたらるのが大流行！おかわりブームが起こっています。ぞうぐみは係活動が始まりました。チャボの世話、ホールの雑巾がけ、ゴミ回収、ウッドデッキの清掃と役割を果たして頑張っています。どのクラスも1年間の成長が楽しみです。

さて、新田保育園の理念をご存じでしょうか。年度の始めですので、職員が何をよりどころに保育業務にあたっているのかお伝えしたいと思います。

### 【新田保育園の理念】

『共に生きる喜びの中で』 —みんなでつくる みんなの保育園—

新田保育園は、戦後地域の方々の支援によって、子ども達の保育と育ちを保障する保育園として設立されました。私たちは「憲法」「児童憲章」「こどもの権利条約」を基本に次のことを大切にしています。

- ① 子ども一人一人を尊重します。
- ② 保育の仕事に責任を持ち、子どもの発達保障と保護者の保育を必要とする権利を保障します。
- ③ 保護者と共に育て、共に育ちあう関係を大切にしていきます。
- ④ どもと子育てが大切にされる社会の実現をめざします。

今年年長のぞうぐみは、保護者の方と離れて埼玉県飯能市へ2泊3日の「合宿」に出かけます。自然の中での体験を通し、クラスの仲間と協力しなければ乗り越えられないプログラムを組んでいます。1人では乗り越えられないことでも、ぞうぐみの仲間と一緒にならできるんだ！人と繋がる体験を通し、心も大きく成長することでしょう。保育士も子ども達と共に食事をし、入浴し就寝します。子ども達との距離もグッと縮まります。写真でも報告しますので、その際は是非ご覧になってください。

